

光による計測に支障が出た蒸合などは、自己診断機能により 3DLR 障検の状贈蝸 兼 古伴既芎 十 蟬
検
滅

物体の有無だけでなく、滞留した物体のみを検知することも可能である。

2.4 3DLR 障検の他の機能

(1) 自己診断機能

3DLR 障検の部品に異常が発う 鱈 你 惋 焯 宛 匄

3.1 転倒検知機能

2.3 節で述べた下部マスクは、踏切内にとどまった歩行者が転倒した場合に検知が不安定となる課題があったため、転倒検知機能を開発した。転倒検知機能の概念を第

動追従機能なし)の検知状況を示しており、車両は正しく検知しているが、積雪を転倒として検知してしまっている。一方、第16図-(b)の右図は、高機能化版(自動追従機能あり)の検知状況を示しており、車両は正しく検知しているが、積雪は検知していない。第16図-(c)は、積雪のない初期状態から、路面の凹凸形状における変化量を示したものである。車道部分は積雪が少ないため上昇量があまり変化していないが、歩道部分は積雪が多いため上昇が高くなっており、積雪による路面変化に合わせて、適切に自動追従していることを確認した。

4.4 ノイズ除去機能

降雪期間において、降雪の影響を受けやすい踏切にて、
